

2007年(平成19年)7月25日

日本建築学会関東支部 支部長  
片桐 正夫 様

藤沢市長  
山本 捷雄



旧モーガン邸修復再生に関する要望について (回答)

仲夏の候、ますますご清栄のことと存じます。

日頃は、当市の文化財行政に対して何かとご支援、ご協力をいただき誠に有り難うございます。また、今回は、旧モーガン邸修復再生についての貴重なご意見をいただき有り難うございます。

貴支部の専門委員による被災状況実見の所見等から、旧モーガン邸の修復再生は可能であり文化的価値は継承されとの見解であります。ご案内のように、旧モーガン邸の敷地は市と財団法人日本ナショナルトラスト(以下、財団)とでそれぞれ所有し、建物につきましては、財団の所有で、2003年保護資産として認定しております。また、旧モーガン邸の管理につきましては、市と財団とで取り交わした文書において、土地、建物の修復、維持、管理運営については財団が行うことになっています。

このような状況の中で、6月1日には、財団において、専門家による「被災状況調査検討委員会」を新たに設置し、被災状況の調査や今後の対応策を検討しているところ です。

今後におきましても、当初取り交わしている文書に基づき、修復再生については、財団が対応すべきものと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

事務担当 生涯学習部生涯学習課  
電話 0466-50-3561